

基本目標2 みんなで働き方を考えよう(基本施策4～6)

基本施策4 就労環境の充実

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
15	再就職相談	商工課	継続	<p>実施時期: 通年 対象: 再就職を希望する女性等 目的: 出産・子育てといったライフステージを経た女性が、労働の場に復帰できるように支援を行う。 内容: ワークサポート三条(三条市就労支援相談室)の職業相談員による就労支援及び情報提供を行うとともに、再就職を目指す子育て中の女性を対象にしたセミナー等を開催し、再就職に対する不安解消やアドバイスを行う。 前年度からの改善点: 再就職を希望する女性等がより相談しやすい環境を作り、相談者の増加につなげられるよう、相談方法の選択肢の周知を図る。 目標値: 相談者数 延べ200人 予算額: 3,159千円</p>	<p>参加者数: 217人 (2月末現在) 内容: ワークサポート三条(三条市就労支援相談室)の就労支援相談員が就労支援及び情報提供を行っている。 また、再就職を目指す子育て中の女性を対象に「就労相談応援デー」を2回開催(12/9、2/22開催予定)、座談会形式のママセミナー(座談会形式)を2回開催(5/27、10/7)、就活セミナーを1回開催(1/27)し、再就職に対する不安解消、アドバイスを行っている。 就労相談応援デー参加者数(12/9: 0人) 座談会参加者数(5/27: 2人、10/7: 0人) 就活セミナー参加者数(1/27: 0人) 工夫した点: 昨年度に引き続き、ママセミナーとは銘打つものの、対象にはパパも可としたり、子育て中の方が参加しやすいよう保育ルームを設けている。また、参加者は0名だったが、1月の就活セミナーは自宅からでも参加できるよう、Zoom受講も可能とした。相談方法、セミナーの受講方法の選択肢を増やすことで、誰もが参加しやすい環境を作るよう工夫している。 目標値に対する結果: 相談者数延べ217人(2月末時点)で目標値達成 決算(見込)額: 3,159千円</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大による新潟県の特別警報の発令やまん延防止等重点措置の実施の影響もあり、セミナーや座談会への参加控えがあったと思われる。また、12月の就労相談応援デーは、年末という時期に加え、求人数の増加により採用率が高くなっていると見込まれることから、相談の必要性を感じない傾向があったと思われる。感染症による外出控えがあることを考慮すると、来年度はセミナー等であっても可能な限りオンラインも併用するなど、参加しやすい環境を整えて参加者の増加につなげる。 また、通常の相談については、引き続き相談方法の選択肢があることを周知し、相談者の増加につなげる。</p>	A 1…3点 2…3点 3…3点 4…3点 5…3点 6…3点 合計 18/18= 100%
16	就職ガイダンス	商工課	継続	<p>実施時期: 2月～3月 対象: 再就職を希望する女性等 目的: 出産・子育てといったライフステージを経た女性が、労働の場に復帰できるように支援を行う。 内容: 関係機関と連携し、女性が応募しやすい職種に限定した就職ガイダンス等の情報を提供する。 前年度からの改善点: 女性が応募しやすい職種のガイダンス開催情報の入手に努め、三条おしごとナビを始め、様々な媒体を活用して広く周知を行う。 目標値: 年2回開催</p>	<p>内容: 新潟日報主催の看護職就職応援オンラインガイダンス2022が2、3月に4回開催されるため、三条おしごとナビやSNS等でガイダンスの周知を行う。 目標値に対する結果: 年4回開催で目標値達成</p>	<p>看護職ガイダンス以外にも、女性が応募しやすい職種のガイダンス情報があるか情報収集を行い、周知に努める。</p>	A 1…3点 2…3点 3…3点 4… 5…3点 6…3点 合計 15/15= 100%

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況	問題点、課題等	担当課評価
17	創業塾pontekia	商工課	継続	<p>実施時期:7月～11月 対象:市内に創業を検討している方又は創業の知識を身につけたい方 目的:女性や若者の創業を支援するため、創業希望者や既出店者が経営についてのノウハウを学ぶ場を提供し、長く続く店づくりに寄与する。 内容:女性や若者が創業前に必要知識を学ぶことで、長く続く店づくりを支援する。(創業の心構え、先輩創業者体験談、創業の基礎知識、店舗視察、顧客の獲得方法、金融相談会、創業資金について、ビジネスプランの作成及び完成、プレゼンテーション) 前年度からの改善点:前年度は感染症流行拡大の影響により、先輩受講生や受講生同士の交流の機会を設けることができなかつたため、今年度は感染症の状況に応じながらも、受講生同士が交流できる機会を設ける。 目標値:受講生15人以上 予算額:962千円</p>	<p>参加者数:22人(うち男性11人、女性11人) 内容:男女ともに幅広い年齢層の受講生から申込みがあり、受講生の人脈形成と創業に関する学びを深める支援につながった。様々な立場の受講生同士で意見交換を行い、多様な視点から創業について考える場となった。 工夫した点:育児中の参加者を見越して保育ルームを設置した。利用申請をした受講生もいたが、日曜日の日中開催で家族の協力を得やすい時間帯とのことで利用はなかつた。開講前に女性のための働き方セミナーの日程を設定したことから、創業塾pontekiaにつながった受講生がいた。 目標値に対する結果:受講生22人で目標値達成 決算(見込)額:629千円</p>	<p>今年度日曜日の日中での参加が難しかった受講生に向けて、来年度は平日夜の開催を予定しているため、広く周知していく必要がある。また、感染防止のために受講生、卒業生の会食による交流の場を設けなかつた。来年度以降も意見交換などといった講座内の受講生同士の交流の場を複数設けていく。</p>	<p>A 1…3点 2…3点 3…3点 4…3点 5…3点 6…3点 合計 18/18= 100%</p>
18	女性のための働き方セミナー	商工課	新規	<p>実施時期:6月～7月 対象:これからの働き方(創業・起業・就職・転職)を模索している女性 目的:結婚や出産を機に環境が変わり、これからの働き方を模索している女性に対し、創業や再就職を支援する。 内容:自分の「好き」や「得意」を活かして、新たな事業を起こしたい女性を対象に「やりたいことのコネクトメイクをする場」(セミナー、ワーク、個別相談会)を提供し、将来の創業や、再就職へ繋げる(企業内起業を含む)。 目標値:受講生10人以上 予算額:694千円</p>	<p>参加者数:10人 内容:燕三条エリア「スタートアップ拠点」である株式会社MGNETの武田社長と新潟出身のデザイナー村手氏を講師に迎え、創業や再就職に関するセミナー、ワークショップを行った。現在妊娠中、育児中、両親の介護中など様々な状況にある女性が参加し、これからの働き方について考える機会となった。 工夫した点:講話形式、グループワーク形式など開催回ごとに形式を変え、参加者自身も考えて発表するセミナーとした。セミナー後の個別相談会では、自身の創業への気持ちをより深く掘り下げたい方が参加した。また、育児中の参加者に向けて保育ルームを設置した。 目標値に対する結果:受講生10人で目標値達成 決算(見込)額:561千円</p>	<p>対象女性について、「結婚や出産を～」と想定していたが、様々な理由・年代の女性から参加いただいた。来年度は対象者について再考する。また、感染症対策により、ワークショップ時に距離をとって意見交換の声が聞こえづらい、複数で話しづらいなどの課題があった。対策をとりつつ、セミナー内容に集中できるよう実施方法を見直していく。</p>	<p>A 1…3点 2…3点 3…3点 4…1 5…3点 6…3点 合計 15/15= 100%</p>
19	働く女性のためのスキルアップセミナー(再掲)	地域経営課	継続	No.1に同じ			

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況	問題点、課題等	担当課評価
20	求人求職マッチング事業	商工課	継続	<p>実施時期:3月24日(木)開催 対象:事業所 目的:男性も女性も子育てしながら働きやすい環境が整えられるよう事業所における両立支援の理解を深める。 内容:事業所における人材不足解消のため、子育て等のために離職した女性の雇用のために求められるニーズを市内企業に提供するセミナーを開催する。 前年度からの改善点:セミナー参加事業所数の増加を図るため、来場方式とオンライン方式を併用するなど、参加しやすい環境を整える。 目標値:年1回開催 予算額:178千円(学生・保護者対象バスツアー分含む)</p>	<p>内容:事業所における人材不足解消のため、女性人材の活用に焦点を当て、女性が働きやすい環境を整えることの意義やそのメリットを伝え、女性人材の積極的な活用を働き掛ける。 目標値に対する結果:年1回開催で目標値達成 決算(見込)額:40千円</p>	<p>開催方法を再度、検討し、事業所の参加増加に努める。</p>	<p>A 1…3点 2…— 3…3点 4…3点 5…3点 6…3点 合計 15/15= 100%</p>
21	雇用・労働の場における男女共同参画に関する広報・啓発活動	商工課	継続	<p>実施時期:通年 対象:事業所、市民等 目的:雇用、労働の場における男女共同参画の推進を図る。 内容:セクシャル・ハラスメント防止、雇用機会の均等、両立支援等引き続き(公財)21世紀職業財団、(公財)新潟県女性財団等関連団体のホームページのリンク等、広報・啓発を行う。 前年度からの改善点:事業所宛の周知は、三条市勤労者福祉共済のたよりが従業員にも配布されるタイミングを利用し、2回以上配布する。 目標値:ホームページ等での周知のほか、事業所宛に年2回以上配布する。</p>	<p>内容:ホームページには常時、雇用均等・仕事と家庭の両立支援ページに、女性の活躍推進、両立支援、ハッピーパートナー等のホームページへのリンクを貼り、このページから情報収集できるようにしている。 また、関連団体から送付されるチラシやポスターの掲出を庁舎だけではなく、働く若者が集まるソレイユ三条でも行い、より広く周知を図っている。 また、三条市勤労者福祉共済のたよりに、ハッピーパートナー企業一覧と募集についての記事を4回掲載し、加入事業所会員(1月1日現在:291社、3,214名)に配布、周知を行った。 工夫した点:チラシやポスターは、商工課所管施設の考え得る場所には掲出しており、更なる工夫はできなかった。 目標値に対する結果:事業所宛の共済だより(従業員に配布されるとき)4回掲載で目標値達成</p>	<p>ホームページにおいて、雇用・労働の場における男女共同参画に関する情報にたどり着きやすくするため、検索キーワードを工夫する。</p>	<p>A 1…— 2…— 3…— 4…3点 5…2点 6…3点 合計 8/9= 88.9%</p>

基本施策5 子育て環境の充実

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況	問題点、課題等	担当課評価
22	多様な保育ニーズへの対応	子育て支援課	継続	<p>実施時期: 通年 対象: 市民全般 目的: 子育てを支援していく環境の充実を図り、女性の社会参加につなげる。 内容: 女性が働きながら、安心して子育てできる環境を整えるため、保育所での乳児保育や早朝・延長保育、すまいるランド・あそぼって、子育て支援センターでの一時預かり等を継続して実施する。 また、新潟県済生会三条病院附属保育園たんぼぼ内の病児・病後児保育ルームなのはなで、病児・病後児保育事業を継続実施し、多様化する保育サービスの充実に努めていく。 前年度からの改善点: 多様化する保育ニーズを把握し、継続して事業を行っていく。</p>	<p>内容: 多様な保育ニーズに対応するため、乳児保育や早朝・延長保育、すまいるランド・あそぼって、子育て支援センターでの一時預かり等を実施した。 また、新潟県済生会三条病院附属保育園たんぼぼ内の病児・病後児保育ルームなのはなでの病児・病後児保育事業を実施した。 決算(見込)額: 2,953,946千円</p>	<p>更なる保育ニーズに対応するため、保育士の確保に努める。</p>	<p>A 1…— 2…— 3…— 4…— 5…— 6…3点 合計 3/3= 100%</p>
23	子どもの放課後等の居場所の確保	子育て支援課	継続	<p>実施時期: 通年 対象: 小学生～高校生 目的: 安心して働くことのできる環境を整え、女性の社会参加につなげる。 内容: 小学生の放課後等の居場所として、放課後児童クラブ、放課後子ども教室を継続して実施する。また、中・高校生を対象に夏休み期間に公共施設の開放を行う。 また、安心して子どもが過ごすための放課後の居場所づくりについては、利用児童数増加に対応できるよう居場所の確保を進める。 前年度からの改善点: 地域の状況を(施設や人材等)を整理し、小学校や関係機関との具体的な協議を行い、検討していく。</p>	<p>内容: ・平成29年度から児童クラブの受け入れ対象児童を3年生から4年生までに拡充等をしたことにより、登録児童が増加していることから、女性の社会参画の一助となっている。 ・子どもに留守番をさせることに不安を感じる保護者の相談に応じ、必要に応じて、5年生以上の児童も受け入れている。 ・放課後子ども教室(令和3年1月末時点) 4か所中1か所実施、実施回数延べ7回、参加人数40人 工夫した点: 女性が安心して働ける環境を整えるため、子どもの受入日等について、相談に応じ、働きやすい環境づくりに協力している。 決算(見込)額: 741千円(放課後子ども教室推進事業費)、171,772千円(児童館等施設運営費)</p>	<p>保護者が安心して働くことができるよう、児童クラブの運営に努める。</p>	<p>A 1…— 2…— 3…— 4…3点 5…— 6…3点 合計 6/6= 100%</p>
24	育児講座(再掲)	子育て支援課	継続	No.9に同じ			

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況	問題点、課題等	担当課評価
25	ファミリーサポート提供会員養成講座	子育て支援課	継続	<p>実施時期:11月～12月(全4回) 対象:市民 目的:社会全体で子育てを支援していく環境を作り、女性に係る子育ての負担を軽減する。 内容:民間団体等において子どもを預かる方(ファミリーサポート提供会員)を養成するための講座を実施する。また、既会員等の資質向上のためのスキルアップ研修と兼ねて実施する。 前年度からの改善点:受講者確保のため、参加しやすい日程や実施場所を検討する。また、チラシなどの表現に注意する。 目標値:全受講者のうち、新規受講者の割合を25%以上とする。 予算額:80千円</p>	<p>参加者数:13人(うち男性0人、女性13人) 内容:新規提供会員の養成及び既会員等のスキルアップ研修として、子育てに活かせる実践的な内容で講座を開催し、資質の向上を図った。また、昨年度に引き続き、参加者の半数以上が新規受講者であったため、安心して子どもを預けられる環境づくりの土壌を育てることができた。 工夫した点:心肺蘇生法の講習では、乳幼児を想定した講習を行った。小児科医の講演では、感染症について取り上げるなど、時世に合うように講習内容を検討した。 目標値に対する結果:全受講者のうち、新規受講者77%で目標値達成(新規受講者10名。他3名は昨年度も受講) 決算(見込)額:20千円</p>	<p>引き続き、子育て支援団体への登録へつなげるため、講習内容や回数などの見直しを行い、受講者の需要や時世に合う講習となっているか検討する。</p>	<p>A 1…3点 2…3点 3…3点 4…2点 5…2点 6…3点 合計 16/18= 88.9%</p>